



2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社WOLVES HAND 上場取引所 東
コード番号 194A URL <https://wolveshand.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 北井 正志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CF0経営管理本部長 (氏名) 田中 哲生 TEL 06 (6599) 9106
半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	2,798	11.4	443	41.3	453	45.2	300	69.0
2025年6月期中間期	2,512	—	314	—	312	—	177	—

(注) 包括利益 2026年6月期中間期 300百万円 (69.0%) 2025年6月期中間期 177百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	40.09	39.01
2025年6月期中間期	23.79	22.87

(注) 当社は、2024年6月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年6月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年6月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	6,246	3,052	48.8
2025年6月期	6,049	2,715	44.9

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 3,047百万円 2025年6月期 2,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,150	12.6	1,100	21.0	1,100	21.1	840	41.6	111.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 飛鳥メディカル株式会社、株式会社See、除外 1社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期中間期	7,974,000株	2025年6月期	7,974,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期中間期	442,300株	2025年6月期	500,000株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年6月期中間期	7,495,306株	2025年6月期中間期	7,474,000株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が見られました。一方、米国の関税政策や原材料価格の高騰、継続的な物価上昇等により依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、ペットの家族化や健康志向は加速し、家計のペット向け支出が拡大傾向にある中、ペットの家族化、高齢化を背景にした世帯あたりの動物病院への支出額の増加基調に変わりはなく、飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請はますます高まっているものと認識しております。

このような環境のもと、当社グループは、生き物の命を救い、守り続けることを唯一の目的とする「Animal is my life」を企業理念として掲げ、絶えず高度な知識や技術の習得に努め、動物医療の発展に寄与することを通じて、「人と変わりのない幸せを動物たちに届けたい」、「世界最先端の動物医療を実現したい」、「動物と社会が隔たり無く繋がる世の中を実現したい」を使命に、すべてのステークホルダーの皆さまへ貢献できるよう、永続的な発展を目指しております。

当中間連結会計期間の売上高につきましては、既存病院の堅調なオーガニック成長や前期よりグループ入りした株式会社そよかぜ及び株式会社バハティ어의業績が寄与し、増収となりました。さらに当社の成長戦略を加速させることを目的として、2025年10月に治療用レーザー医療機械器具の開発・製造・販売を行う飛鳥メディカル株式会社(京都市下京区)を、2025年11月に北海道で動物病院1病院運営する株式会社See(札幌市豊平区)を子会社化しました。

営業利益につきましては、グループ経営による事業効率化やコストシナジー、また、2025年4月に実施した会社経営の重要事項の意思決定及び執行を、より一層迅速かつ柔軟に行うことを目的とした経営体制の変更の元、執行した収益性向上のための、診療価格の見直しや適材適所な人員配置等の施策効果が早期に現れた結果、M&Aに伴う一時的な費用や人件費の上昇があったものの、増収効果による売上総利益の増加により、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,798,207千円(前年同期比11.4%増)、営業利益443,896千円(前年同期比41.3%増)、経常利益453,148千円(前年同期比45.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益300,459千円(前年同期比69.0%増)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は6,246,672千円となり、前連結会計年度末と比べて196,697千円増加いたしました。

流動資産は1,304,479千円となり、前連結会計年度末と比べて82,710千円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が45,126千円、原材料及び貯蔵品が73,757千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が243,650千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,942,192千円となり、前連結会計年度末と比べて279,408千円増加いたしました。これは主に、工具、器具及び備品が57,182千円、のれんが199,604千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は3,194,666千円となり、前連結会計年度末と比べて139,699千円減少いたしました。

流動負債は1,321,832千円となり、前連結会計年度末と比べて634,777千円減少いたしました。これは主に、買掛金が32,883千円、未払金が45,585千円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が701,991千円減少したこと等によるものであります。なお、上場前のLB0にかかる借入は、金融機関との協議の上、2025年12月にリファイナンスが完了しております。この度のリファイナンスにより、期限の利益の長期化を行うことで、営業キャッシュ・フローにより増加する自己資金を成長投資に充当し、財務健全性を維持しながら、グループを拡大することで、営業キャッシュ・フローが更に増加する「成長性と財務健全性を両立させる好循環スパイラル」を継続してまいります。

固定負債は1,872,834千円となり、前連結会計年度末と比べて495,077千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が475,118千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は3,052,005千円となり、前連結会計年度末と比べて336,397千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が300,459千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、651,679千円となり、前連結会計年度末と比べて243,650千円減少いたしました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、452,333千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益473,476千円、減価償却費94,472千円、のれん償却額86,723千円、法人税等の支払額201,223千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、493,839千円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入7,700千円、有形固定資産の取得による支出120,618千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出374,122千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、202,144千円となりました。これは主に、長期借入による収入818,630千円、長期借入金の返済による支出1,045,503千円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正についての詳細は、本日開示しております「2026年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	895,330	651,679
売掛金	278,629	299,947
商品及び製品	86,051	131,177
原材料及び貯蔵品	4,828	78,586
その他	166,843	186,756
貸倒引当金	△44,493	△43,667
流動資産合計	1,387,190	1,304,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	849,099	838,500
工具、器具及び備品(純額)	202,044	259,227
土地	1,624,408	1,624,408
リース資産(純額)	2,925	14,635
その他(純額)	8,703	14,116
有形固定資産合計	2,687,181	2,750,888
無形固定資産		
のれん	1,653,138	1,852,742
ソフトウェア仮勘定	91,685	94,325
その他	11,073	10,542
無形固定資産合計	1,755,896	1,957,610
投資その他の資産		
関係会社株式	24,317	—
長期前払費用	33,998	32,968
差入保証金	59,241	64,832
繰延税金資産	102,147	104,527
その他	—	31,364
投資その他の資産合計	219,706	233,693
固定資産合計	4,662,784	4,942,192
資産合計	6,049,974	6,246,672

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,611	124,494
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,154,213	452,222
リース債務	7,886	2,480
契約負債	25,735	25,610
未払金	239,691	285,276
未払法人税等	225,169	207,431
未払消費税等	91,869	89,096
その他	20,432	35,221
流動負債合計	1,956,609	1,321,832
固定負債		
長期借入金	1,274,194	1,749,312
リース債務	181	103
資産除去債務	97,512	97,672
繰延税金負債	—	21,090
その他	5,868	4,654
固定負債合計	1,377,756	1,872,834
負債合計	3,334,366	3,194,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,710	107,710
資本剰余金	2,578,997	2,581,127
利益剰余金	278,900	579,359
自己株式	△250,000	△221,150
株主資本合計	2,715,608	3,047,047
新株予約権	—	4,957
純資産合計	2,715,608	3,052,005
負債純資産合計	6,049,974	6,246,672

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,512,555	2,798,207
売上原価	1,914,816	2,046,222
売上総利益	597,739	751,984
販売費及び一般管理費	283,556	308,088
営業利益	314,183	443,896
営業外収益		
受取利息	52	668
受取販売奨励金	7,712	17,896
その他	5,682	6,687
営業外収益合計	13,447	25,253
営業外費用		
支払利息	11,145	13,017
持分法による投資損失	1,390	899
資金調達費用	2,305	2,054
その他	742	29
営業外費用合計	15,583	16,000
経常利益	312,047	453,148
特別利益		
固定資産売却益	8,011	7,700
段階取得に係る差益	—	12,913
特別利益合計	8,011	20,613
特別損失		
固定資産除却損	0	285
減損損失	3,163	—
特別損失合計	3,163	285
税金等調整前中間純利益	316,895	473,476
法人税、住民税及び事業税	131,459	175,397
法人税等調整額	7,637	△2,380
法人税等合計	139,097	173,017
中間純利益	177,798	300,459
親会社株主に帰属する中間純利益	177,798	300,459

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純利益	177,798	300,459
中間包括利益	177,798	300,459
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	177,798	300,459

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	316,895	473,476
減価償却費	88,786	94,472
減損損失	3,163	—
のれん償却額	77,943	86,723
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△259	△886
受取利息及び受取配当金	△52	△668
支払利息	11,145	13,017
持分法による投資損益(△は益)	1,390	899
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△12,913
株式報酬費用	—	4,957
有形固定資産売却損益(△は益)	△8,011	△7,700
売上債権の増減額(△は増加)	4,545	△10,821
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,566	△13,700
仕入債務の増減額(△は減少)	10,817	29,253
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,722	△7,128
その他	△19,369	17,217
小計	500,282	666,199
利息及び配当金の受取額	52	668
利息の支払額	△11,046	△13,311
法人税等の支払額	△102,419	△201,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,868	452,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,334	△120,618
有形固定資産の売却による収入	62,610	7,700
無形固定資産の取得による支出	△3,692	△2,640
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△201,530	△374,122
その他	△4	△4,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,951	△493,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△11,267	—
長期借入れによる収入	—	818,630
長期借入金の返済による支出	△231,388	△1,045,503
リース債務の返済による支出	△6,878	△5,484
自己株式の処分による収入	—	30,980
その他	△307	△767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,842	△202,144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,925	△243,650
現金及び現金同等物の期首残高	910,879	895,330
現金及び現金同等物の中間期末残高	868,954	651,679

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。